

## SGH企画：海外（ベトナム）研修 報告③

日程：平成27年10月11日(日)～15日(木)

訪問国：ベトナム社会主義共和国

訪問先：カイインダストリーズ(株)ベトナム工場、JICAベトナム事務所  
在ベトナム日本国大使館、ダナン医薬技術大学

参加者：2年生8名、1年生7名、引率教員2名

10月13日(火) 15:00-17:00 ダナン医薬技術大学 を訪問しました！



ダナン医薬技術大学の外観



本校代表生徒による挨拶

2日間滞在した首都ハノイを離れ、およそ1時間半のフライトの後、ベトナム中部最大の商業都市ダナンに到着しました。ハノイよりも開発が進んでいると思われる都会的な街並みの中を移動し、今研修の最終訪問先であるダナン医薬技術大学に向かいました。同大学は、私たちの住む関市にキャンパスを持つ中部学院大学と連携し、日本の先進的な介護や看護の技術を学び、高齢化をはじめとするベトナムの抱える医療問題の解決に向け、研究と実践を行っています。

私たちは、9月中旬に中部学院大学准教授馬場美穂様にご講演をいただき、ベトナムの高齢化の実態や医療サービス・看護師の就労の問題について学習し、さらに渡航直前には、同大学教授飯尾良英様から、JICAと中部学院大学が共同して進める「草の根技術協力事業」のご説明をいただきました。それらの事前学習を経て、「現地で何を見て、何を学んでくるのか」という課題を各自が持って訪問に臨みました。

事前研修で大変お世話になった飯尾教授に校門で出迎えていただいた後、会議室において大学の概要説明を受けました。ソン学部長による詳細な説明と通訳の方のサポートにより、大学の組織や授業の内容を理解することができました。その後、グエン・キャク・ミン学長より丁寧なご挨拶をいただき、その温かいお言葉と柔らかな笑顔により、緊張を次第にほぐしていくことができました。

大学の説明を受けた後、日本語教室の参観に向かいました。「老年ケア教室」という名の日本語教室ですが、そこではベトナムの病院のリーダーである人たちが集まり、日本の看護・介護の理念や技術を自分たちの職場に広めるために一生懸命に日本語を学んでおられました。「看護・介護」に相当する言葉を持たないベトナムにおいて、その言葉と理念を根付かせようと日々学習に励んでおられ、12月までの日本語学習を経て、その後は本格的に日本の看護・介護を学んでいくそうです。

私たちは、学生の皆さんが、日本語指導員の先生方の熱心なご指導の下、生き活きとひたむきに日本語を学んでいる姿に強く感銘を受けました。この教室は今年の9月半ばに開講したばかりということでしたが、日本語での自己紹介の際には次々に手が上がり、学び始めてまだひと月とは思えないほどの流暢な日本語を披露して下さいました。教室の雰囲気は常に明るく、発表者を見つめるクラスメートの眼差しは温かく、全員が日本語を学ぶことを心から楽しんでいらっしゃるように思えました。授業参観の最後には、私たちが日本から持参したお土産を学生の皆さん一人一人にお渡しする機会も作っていただき、短い時間ではありましたが忘れがたい思い出を作ることができました。

会議室に戻り、この訪問の締めくくりとして、日本語教室の指導員である浜野先生と山本先生との懇談会を設定していただきました。両先生は、青年海外協力隊員としての経験もお持ちで、海外で働くことのやりがいや大変さについて体験談を織り交ぜながらお話し下さいました。会が終了した後も、時間のない中、私たち数名の質問に対して丁寧かつ誠実にお答えいただき、本当に感謝しています。「海外に出ると180度物の見方が変わる」という言葉は私たちの多くの心に残る一言でした。

ダナン医薬技術大学への訪問と、日本語教室での交流会は、今回のベトナム研修の中でもとりわけ強い印象を私たちに与えてくれました。初対面の私たちをまるで友人であるかのように温かく笑顔で迎えて下さった学生の皆さんとお別れしなければならないのは辛いことでした。しかし、来年7月には日本語教室の皆さんが来日され、関市内の施設で実習をされるとのことです。その時の再会を心から楽しみにしたいと思います。



ダナン医薬技術大の先生方との記念写真



浜野先生と山本先生との懇談会の様子





## 日本語教室の授業風景と学生の皆さんとの記念写真

ハノイとダナンにおける研修を終えた私たちは、最終日に、その古い街並みが世界文化遺産に登録されているホイアンとダナンの両市内の名所を視察しました。その後、ホーチミンのタンソンニャット国際空港を經由して、10月15日朝、全員が無事帰国しました。

滞在中に色々なことを学びましたが、日本を出て、実際にベトナムという地で過ごしたからこそ学ぶことができたことが多くありました。文化や風土、戦争と支配の歴史、人々の温かさや優しさ、自国の産業や医療の発展のためにひたむきに努力を続ける人々の持つエネルギー、ベトナム戦争からの復興と将来のさらなる発展に対する自信や誇りなど、この4日間の滞在において本当に多くのことを見て、聞いて、感じ、そして考えることができました。研修は終わりましたが、今後も学習や体験を通じて、各自この研修で学び取ったことを深めていきます。広く世界を見つめる姿勢を忘れることなく、これから先の進路決定にこの経験を活かし、さらに自分の生き方を追求していきたいと思いません。

最後になりますが、事前研修も含め、今回のベトナム研修の成功のために、本当に多くの方々にお世話になりました。心から感謝申し上げます。



### ハノイのホーチミン廟



### 発展するダナン市の景観